全5回講座
受講生募集

西洋美術史への扉 連続講座

画家たちは名画から何を学んだのか

―ヴェネツィアから印象派、ルノワールへ―

画家たちは、それ以前の名画を見つめ、そこから何かを学びながら、自分たちの時代にふさわしい新しい表現へと作り替えてきました。16世紀ヴェネツィアの豊かな色彩から、フランスで繰り返された「線と色」の議論、自然や現実へと目を向けた19世紀の画家たち、そしてモネをはじめとする印象派へ。全5回を通して、約300年にわたる西洋絵画の流れを、単なる年代順の美術史ではなく、「画家たちは過去の名画から何を学び、それをどう新しい絵画へ変えていったのか」という視点から、作品を見ながらていねいに読み解きます。

開講日　（日程詳細は裏面をご覧ください）

2026	12月12日（土）	14：00～15：15
2027	1月　9日（土）	17：00～18：15
	1月23日（土）	14：00～15：15
	2月13日（土）	14：00～15：15
	3月　6日（土）	14：00～15：15

※1月9日（土）の開講時間のみ17:00開始になります。

講　師　**長谷川 浩一**

美術史研究家。イギリス・ノッティンガム大学および大学院で美術史を専攻し、ヴェネツィア・ルネサンス美術を研究。現在は19世紀フランス絵画を中心に研究・執筆を進める一方、「Edogawa Art Salon, Tokyo」を通して美術史講座や発信を行う。noteでは、作品への疑問や「わからなさ」を入口に、美術史を身近に読み解く記事を発信している。

定員	24名（最少催行人数：12名）
受講料	10,000円（資料代込・5回分）
申込	オンラインもしくは窓口申込 【申込受付中】

※ホームページ上のキャンセル規定をご一読のうえお申し込みください。

お申し込みは
こちらから

【受講料について】
受講料は全5回分を一括でお支払いいただきます。

【キャンセル規定（抜粋）】
全5回を通してご参加いただく講座のため、欠席や途中退会の場合も受講料の返金はいたしかねます。予めご了承ください。

【途中参加について】
開催後に定員数に満たなかった場合、途中回からのご参加も可能です。受講料は残り回数分のお支払いとなります。 受講料は1回あたり2,000円換算です。

【開講について】
本講座の初回開催日は 12月12日（土） です。最少催行人数に達した場合に開講し、開講の可否は 12月4日（金）17:00 までに決定いたします。 万が一、最少催行人数を下回り開講中止となった場合は、受講料を申込本人に全額返金いたします。

お問い合わせ：03-3676-9071
会場:しのざき文化プラザ　3階講義室

江戸川区篠崎町7-20-19
都営新宿線「篠崎」駅西口直結・徒歩２分

しのざき文化プラザ

しのざき文化プラザ

開講日程

12/12(土) ヴェネツィア—なぜ「色彩」の絵画が生まれたのか

14:00

16世紀のヴェネツィアでは、ティツィアーノやヴェロネーゼらによって、豊かな色彩と光に満ちた絵画が発展しました。フィレンツェを中心に重視された素描や輪郭との違いにも目を向けながら、なぜヴェネツィアで独自の絵画表現が生まれたのかを考えます。

代表作品：パオロ・ヴェロネーゼ《カナの婚礼》1562–1563年/ルーヴル美術館、パリ

1/9(土) 線か、色か—フランスの画家たちは名画から何を学んだのか

17:00

絵画にとって大切なのは、正確な線や形なのか。それとも豊かな色彩なのか。17世紀のプッサンとルーベンスをめぐる議論から、19世紀のアングルとドラクロワまで、フランスでは過去の巨匠たちをどのように評価し、そこから何を学ぶべきかが繰り返し論じられました。過去の美術がフランスでどのように理解され、新しい時代の絵画へと結びついていったのかをたどります。

代表作品：ウジェーヌ・ドラクロワ《アルジェの女たち》1834年/ルーヴル美術館、パリ

1/23(土) 自然と現実を描く—バルビゾンから印象派の誕生へ

14:00

19世紀になると、画家たちは神話や歴史だけでなく、自分たちの目の前にある自然や人々の暮らしへと目を向けるようになります。コロー、テオドール・ルソー、ディアズ、ミレー、クールベらの作品を通して、自然や現実を描くことがどのように重要になっていったのかを見ていきます。さらに、フォンテーヌブローの森で制作した若きモネ、ルノワール、シスレーらへとつなげながら、1870年代の印象派誕生までをたどります。

代表作品：ジャン＝フランソワ・ミレー《落穂拾い》1857年/オルセー美術館、パリ

2/13(土) モネと印象派—「見える世界」をどう描いたのか

14:00

印象派の画家たちは、刻々と変化する光や空気、その瞬間に目に映る世界を新しい方法で描こうとしました。モネを中心に、シスレー、ピサロ、ルノワールらの作品を見ながら、色彩、筆触、光、戸外制作など、印象派の絵画がそれまでの美術と何を変えたのかを考えます。また、自然だけでなく都市や鉄道、水辺など、近代の新しい生活や風景が絵画にどのように取り込まれていったのかにも目を向けます。

代表作品：クロード・モネ《ひなげし》1873年/オルセー美術館、パリ

3/6(土) 近代の画家たちは過去をどう使い直したのか

14:00

印象派を含む近代の画家たちは、新しい絵画を生み出した一方で、過去の美術を見続けました。マネは古い名画を現代へ置き換え、ドガは古典的な素描を現代生活の表現へ生かしました。ゴッホはミレーを自分自身の色彩と筆触で描き直し、ゴーギャンも宗教美術やさまざまな地域・時代の美術から新しい表現を生み出します。そしてルノワールは、印象派として活躍した後、イタリアを訪れ、ラファエロやヴェネツィア派など過去の巨匠たちを改めて見つめました。

「過去から学ぶ」とは、昔の絵をそのまま真似することではありません。画家たちが名画をどのように見直し、自分自身の時代の絵画へと作り替えていったのかを考え、全5回を締めくくります。

代表作品：ピエール＝オーギュスト・ルノワール《雨傘》1881–1886年頃/ ナショナル・ギャラリー、ロンドン

講座内容等変更になる場合があります。また最少催行人数を下回る場合は開催を中止する場合があります。予めご了承ください。

キャンセル規定

お申込み前に、必ず以下の内容をご確認ください。
キャンセル規定をご確認いただいていない場合のトラブルにつきましては、
対応いたしかねますので、ご了承ください。

1. キャンセル料について

お申し込み後にキャンセルされる場合は、以下のキャンセル料を申し受けます。

- お申し込み時～開催日の9日前まで：受講料の10%
- 開催日の8日前～3日前まで：受講料の50%
- 開催日の2日前～当日まで：受講料の100%

※「〇日前」とは、開催日を含まない日数です。

2. 返金について

窓口申込（現金支払）の場合は、以下の両方を満たした場合に限り、上記キャンセル料を差し引いた金額を返金いたします。

- 開催日の3日前までにキャンセルのご連絡がある
- 開催日当日の開催時間までに窓口で返金手続きを行う

オンライン申込の場合は、キャンセル手続き後、上記キャンセル料を差し引いた金額を各カード会社の処理にかかる日数を経過後に返金いたします。

3. 欠席・途中退会について

欠席または途中退会の場合は、受講料の返金はできません。

4. 申込受付について

窓口申込のお手続き中は、お席を確保している状態ではありません。
手続き完了前にオンライン申込で定員に達した場合は、「キャンセル待ち」となります。
あらかじめご了承ください。

5. キャンセル方法について

キャンセルは、お電話または予約ページからお手続きいただけます。
予約確定メールに記載されたURLからマイページへアクセスしてください。

6. 災害等による延期・中止について

東京都または江戸川区から開催中止の指示があった場合は、対象講座の受講料を返金いたします。なお開催を延期する場合は、あらためて日程をご案内いたします。

しのざき文化プラザ事務局